## モノ学·感覚価値研究会年報 感覚価値研究第10号

Ъ くじ

『モノ学・感覚価値研究』 第10号 (最終号) 刊行に際して

鎌田東一

001

### 第 1 部 こころのワザ学

第一章 遠藤周作と石牟礼道子の「汎神論」 「こころの練り方」探究事始め その六

鎌田東二

002

第二章

ヴァルター・ベンヤミンの複製美学

絵画の写真複製を巡る問題を中心に

秋丸知貴 015

第三章

Reduction (2012 ~ 2015) —— 瞑想する坐像

近藤髙弘

023

第四章

事後的な意味生成を促進する情報技術に関する考察

渡邊淳司 028

電気紙芝居」、「鎮魂能舞

第五章

第六章

北野天満宮「悲とアニマ」展と「鎮魂茶会」、淡路人形浄瑠璃、 鎌田東二 ●030

大西宏志 034

ARC?

研究センター連携研究プロジェクト二〇一五年度活動報告

モノ学・感覚価値研究会アート分科会/京都大学こころの未来

第七章

京都藝苑二〇一五」を中心に モノ学・感覚価値研究会アート分科会活動報告二○一五・「現代 秋丸知貴 ●40

> 第 2 部 第六回東日本大震災関連シンポジウム

こころの再生に向けて

五年目を迎えた被災地の「復興」と現実

玄侑宗久+鈴木岩弓+稲場圭信+井上ウィマラ +金子昭+黒崎浩行+鎌田東二ほか ●050

## 第 3 部 比較文明学会「災害と文明プロジェクト」

災害と文明シンポジウムⅡ 火山列島の災害と文化

鎌田浩毅+原田憲一+横山玲子+中牧弘允

+松本亮三+鎌田東二ほか 089



角度と発想から考察し、表現してゆく 『アヴァンギャルドな研究会』です。のモノ的創造力と感覚価値を検証する』を研究し、「モノ」と「感覚価値」をあらゆる研究費補助金交付に採択された「モノ学の構築―もののあはれから貫流する日本文明「モノ学・感覚価値研究会」は、二〇〇六年四月二一日付けで、日本学術振興会科学

この研究会では、

Z.

ムを分析します。わい・すてき・おもしろい・たのしい」などの快美を表わす感覚価値形成のメカニズわい・すてき・おもしろい・たのしい」などの快美を表わす感覚価値形成のメカニズル・すてき・おもしろい・たのしい」などの快楽を表わす感覚価値形成のメカニズー・日本人が「モノ」をどのように捉え、「モノ」と心と体と命及び自然との関係をどれている。

い関係の構築可能性があると考えます。という「モノ」の見方の中に、「モノ」と人間、自然と人間、道具や文明と人間との新しという「モノ」が単なる「物」ではなく、ある霊性を帯びた「いのち」を持った存在である2.「モノ」が単なる「物」

となるはずです。 布置化と人間の感覚能力の可能性と再編成を探ることは極めて重要な二一世紀的課題盤の深化と再編集なしに創造力の賦活と拡充はないでしょう。それゆえ、「モノ」の再3:二一世紀文明の創造には新しい人間認識と身体論と感覚論が必要であり、感覚基

きます。
5.また、「モノ」と「感覚価値」を新しい表現に結びつけ、大胆な表現に取り組んでい5.また、「モノ」と「心直し」をしていくのが本研究の大きな目的となります。認識における「世直し」と「心直し」をしていくのが本研究の大きな目的となります。4.人間の幸福と平和に結びつく「モノ」認識と「感覚価値」のありようを探りながら、

あり、現在も活動しています。 モノ学・感覚価値研究会の中に 「アート分科会」 (世話人:近藤髙弘・大西宏志) が

ご参照ください。 詳しくは、「モノ学・感覚価値研究会」のHP:http://mono-gaku.la.coocan.jp/を

#### 一組作品

Reduction」近藤髙弘

#### 編集後記

◆「モノ学・感覚価値研究」を掲げて十年が過ぎた。二○○六年にスター ◆「モノ学・感覚価値研究会」も満十歳となった。そして、「元服」「卒 業」することになった。このテーマや問題意識は継続し、HPも継続維持 業」することになった。このテーマや問題意識は継続し、HPも継続維持 業」することになった。とのテーマや問題意識は継続し、HPも継続維持 なった。そして、「元服」「卒

◆「モノ学・感覚価値研究会」は鎌田東二先生が京都造形芸術大学芸術学 本れ、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 おれ、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 でれ、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 され、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 され、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 され、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係 され、知的興奮に満ちた編集作業だった。執筆者のみなさま、そして関係

# モノ学・感覚価値研究 第10号

発行日 平成二八年三月三一日 ・ 京都大学こころの未来研究センター ・ 京都市左京区吉田下阿達町46 ・ 京都市左京区吉田下阿達町46 ・ 電話 075-753-9670 (代)

デザイン 鷺草デザイン事務所 尾崎閑也編 集 編集工房レイヴン 原 章

株式会社 NPC コーポレーションマル工房・大西昇子

印 組

版

「 ∩一部またけ今部を無断で抑写「転載することを禁じます

L 本誌の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。